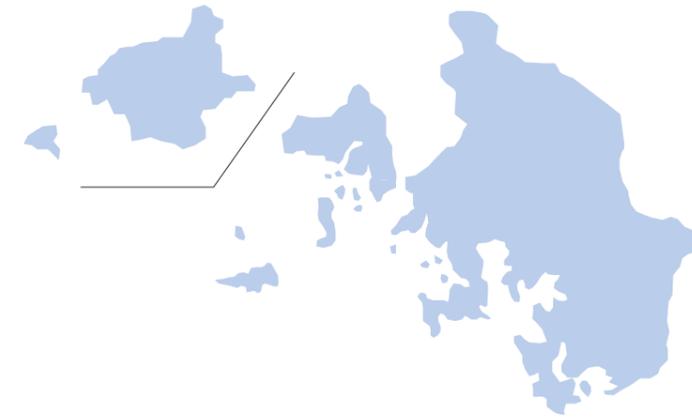


佐世保の見どころ

市町村合併で新たに加わった佐世保の見どころや新西海橋、ハウステンボスの新しい施設をご紹介します。



宇久の見どころ

宇久島の中央に位置する、島内で一番高い「城ヶ岳」の展望台からは、島内をはじめ、平戸島、生月島、条件が良い日には壱岐、対馬を望むことができます。島の西端には、壇ノ浦の戦いに敗れた平家盛一行が漂流し、上陸したとされる「平家盛公上陸地記念碑」があります。

夏のシーズンには、きれいな砂浜の「大浜海水浴場」などの海水浴場がにぎわいます。



城ヶ岳展望台▶
大浜海水浴場
平家盛公上陸地記念碑▶

【お尋ね】
宇久行政センター産業建設課
(☎0959・57・3111)

御橋観音と牧の岳自然公園

御橋観音は、旧平戸藩の時代から平戸八景の一つに数えられ、広く知られています。境内の北側には、二条の天然の大きな石橋が架かり、「御橋観音」の名称はこの石橋に由来します。御橋観音がある「牧の岳」は、吉井地域の中央にそびえ、まちを一望できます。春は桜、夏は緑、秋は紅葉と四季折々の自然が楽しめます。自然公園として、遊歩道やコンビネーション遊具なども整備されており、休日には家族連れでにぎわいます。



御橋観音の石橋

【お尋ね】
吉井行政センター産業建設課
(☎0956・64・3111)

小佐々の見どころ

「神崎鼻公園」には、日本本土最西端の碑が立ち、芝生広場などがあります。神崎鼻は、国土地理院の人工衛星を使った測量（平成元年）により、東経百二十九度三十三分、北緯三十三度十二分と確定し、日本本土最西端の認定を受けました。

「冷水岳公園」では、4月から6月にかけて平戸ツツジやヤマツツジなどが園内を彩ります。また、展望台からは、美しい九十九島の眺めを楽しむことができます。



日本本土最西端の碑



冷水岳から望む九十九島

【お尋ね】
小佐々行政センター産業建設課
(☎0956・41・3113)

世知原炭鉱資料館

長崎県の北部は、かつて炭鉱が栄えた地域でしたが、現在ではすべて閉山しています。

世知原炭鉱資料館では、炭鉱で使われていた機械や道具などが展示され、土・日曜、祝日には、元炭鉱マンによる解説があります。資料館は、明治45（1912）年に建てられた旧松浦炭鉱事務所です。石造りの洋風建築で、県の文化財に指定されています。

【見学方法】

平日は、隣接する社会福祉協議会事務所に申し込んでください。土・日曜、祝日は、解説者がいます。開館時間は9時～17時。

【お尋ね】
世知原地区生涯学習センター
(☎0956・76・2516)



西海橋と新西海橋

西海橋下の針尾瀬戸は、日本三大急潮の一つに数えられ、西海橋周辺は渦潮を楽しむ観光客でにぎわいます。

新西海橋は、ことし3月5日に開通しました。新西海橋の自動車専用道路（有料）の下部には、歩道（無料）が設置されています。歩道中央部のエントランスホールの床にはガラスののぞき窓があり、真下の渦を見ることが出来ます。新西海橋の歩道と車道はつながっていません。歩道を歩くために自家用車でお越しの際は、国道沿い西海橋近くの県営駐車場をご利用ください。



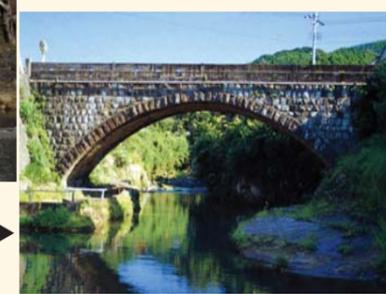
【お尋ね】
西海橋観光協会
(☎0956・58・5050)

石橋群

吉井・世知原地域には、明治時代から昭和初期に架けられた石橋が数多く残っています。

石橋群は、豊かな自然に囲まれた中で、古き良き石の文化を感じさせる風景を作り出しています。炭鉱が栄えたころに、石炭を満載した車を通すため頑強に造られたといわれる樋口橋など、石工の誇らしい技術を感じ取られます。

樋口橋（吉井町大渡・立石間）
市指定有形文化財



倉渕橋（世知原町栗迎・矢櫃間）
市指定有形文化財

ハウステンボスの新施設

「Kirara（キララ）」
7月22日に、新アミューズメント施設・ハウステンボスIFXシアター「Kirara」がオープンします。

この新施設は、昨年の愛知万博で人気を博した「三菱未来館@earth」もしも月がなかったら」のメインショーにハウステンボス独自のプレショーを加えたもので、最新鋭の映像・音響技術を駆使した映像施設です。クライマックスシーンでは、体がふわりふわりと宙に舞っているような感覚を体感できます。



©ハウステンボス/J-9340

【お尋ね】
ハウステンボス
(☎0956・27・0001)